

研究会設置の目的

国土交通省港湾局

海辺は、多様な生物が生息・生育する空間であるとともに、人々の生活の場でもある。人はこの貴重な空間を利用・保全し、自然と共生する我が国の文化・歴史・風土を形成してきた。

しかし、海辺は、人為的な諸活動により、その環境が影響を受けやすい空間でもある。このため、経済の発展等により人の活動が活発になるにつれて海辺の環境は悪化し、また、海辺と生活との結びつきも希薄になってきている。

この貴重な空間は良好な状態で次世代に継承していくべきものである。しかし、海辺への人為的影響が避けられない以上、人の手により積極的に海辺を良好な状態に再生・保全していくことが必要である。また、この際には人と海辺の関わり方が重要である。これは行政のみで実現できるものではなく、多様な主体の協働が必要である。

このような認識から、「人と海辺の関わり方を再検討」し、「人と自然が共生した新たな海辺の文化を創造」し、「多様な主体の協働による海辺づくり（『里浜』づくり）」を進めていくことを目的として、「新たな海辺の文化の創造研究会」を設置し、「社会が目指すべき海辺の姿」、「人と海辺の関わり方（海辺の文化）」、「多様な主体の協働により目指すべき海辺の姿を実現するための具体的方策」について検討する。